

Primoのフロントエンドを読み取り専用にする

Note

この手順はクラシックPrimo UIにのみ適用され、新しいPrimo UIおよびPrimo VEではサポートされていません。

このセクションでは、Primoのフロントエンドを読み取り専用にするために必要な手順について説明します。説明には、次の機能や、外部システムまたはユーザーデータとやりとりする機能を非表示にすることが含まれます。

- Primoのリクエストを介したOPAC
- マイアカウントへのアクセス
- 新しいタグの作成
- レビューの作成や編集
- クエリの保存
- 電子書架バスケットへのアイテムの追加(認証済みユーザーとして)
- メインメニューでのアイテムの注文

これは、現在のILSをAlmaに変更するカットオーバー期間中に役立つ場合があります。

FEを読み取り専用にするには：

1. readonly.cssというファイルを作成し、次の情報を含めます。

```
* Readonly Attributes */
/* 電子棚機能を非表示にする */
.EXLMyShelf,.EXLResultsList td.EXLMyShelfStar, .EXLFacetContainer
div.EXLFacetActionsV2 li.EXLFacetSaveToEShelfAction, .EXLTabHeaderButton
ol.EXLTabHeaderButtonSendToList li.EXLButtonSendToMyShelf {display: none;}
/* マイアカウント機能を非表示にする */
.EXLMyAccount {display: none;}
/* 新しいタグやレビューの追加機能や、レビューやタグの表示機能を非表示にする */
.EXLTagsContainer p:first-child, .EXLReviewsContent p:first-child, div#myTags,
.EXLTagsPageRecentTags, .EXLReviewsContent cite {display: none;}
/* リクエストの配置機能を非表示にする */
.EXLTabsRibbon div li.EXLRequestTab{display:none;}
.EXLocationTableActions{display:none;}
.EXLocationTableHeaderActions {display:none;}
/* クエリの保存機能を非表示にする */
.EXLFacetContainer div.EXLFacetActionsV2 li.EXLFacetSaveSearchAction {display:
none;}
/* Create a readonly banner that displays a read-only message at the top of the
Front End */
div.readonly {padding: 0px; margin: 0px 0px 0px 0px; font-size: 80%;
```

```
border-bottom: 1px solid #E1E1E1; border-top: 1px solid #E1E1E1;
background-color: #d93f3b; color: #ffffff; text-align: center;
line-height: 36px; font-weight: bold;}
```

2. ファイルをサーバーに保存します。サーバーにアクセスできない場合は、ファイルアップローダーユーティリティを使用してファイルをアップロードします([\[Primoホーム\]](#) > [\[Primoユーティリティ\]](#))。
3. CSSマッピングテーブルを編集します([\[Primoホーム\]](#) > [\[詳細設定\]](#) > [\[すべてのマッピングテーブル\]](#) > [\[フロントエンド\]](#)サブシステム)。
4. マッピングの各行で、**CSS URL** フィールドでreadonly.cssをCSSファイルのリストに追加します。たとえば：
Primo_default.3.0.css;../uploaded_files/<YOUR_VIEW>/readonly.css
5. 変更を保存してマッピングテーブルに配置します。
6. ヘッダーに使用する静的HTMLファイルを編集し、次のテキストを追加します。

```
<script type="text/javascript">
// Alma の移行期間中に静的HTMLファイルのヘッダーに追加されます
//<![CDATA[
(function() {
    // 必要であればメッセージをカスタマイズすることができます
    var mess = 'システムアップグレードのため、一部のサービスが利用できない場合があります。詳しい
情報やサービスについては図書館スタッフにお問い合わせください。'

    $('body').prepend('<div class="readonly">' + mess + '</div>');
})();
//]]>
</script>
```

7. 変更した静的HTMLファイルをサーバーに保存します。サーバーにアクセスできない場合は、ファイルアップローダーユーティリティを使用してファイルをアップロードします([\[Primoホーム\]](#) > [\[Primoユーティリティ\]](#))。FEでは、ページの上部にメッセージが表示されます。

